2019年４月期第２四半期
決算説明会資料

2018年12月11日

インスペック株式会社

JPX
東証二部上場
（証券コード：6656）

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

目次

- 会社概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 決算概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 業績見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- 今後の経営戦略 (インスペックの成長戦略) ・・・15
- 精密基板製造装置関連事業 ・・・・・・・・・・・・・・24

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

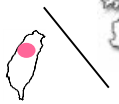
インスペックの概要（2018年10月31日現在）

inspec Inc.

商　　号	インスペック株式会社
本　　社	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷79-1
創　　業	1984年（昭和59年）１月
上 場 市 場	東京証券取引所市場第二部
代　表　者	代表取締役社長　菅原　雅史
主 な 事 業	電子回路基板（半導体パッケージ基板・FPC等）の外観検査装置及び製造装置の開発・製造・販売・サービス
連結子会社	Ｆｉｒｓｔ ＥＩＥ ＳＡ
従　業　員	連結：68名　　個別：52名
資　本　金	822百万円
発行済株式数	3,294,100株　（単元株数：100株）
株　主　数	1,994名

インスペック　秋田県仙北市角館町

非連結子会社
Inspec TAIWAN
台湾桃園県



東京オフィス
東京都港区浜松町

連結子会社

First EIE SA
スイス・ニヨン　　当社持株比率：89%

プリント基板用フォトプロッター
インクジェット プリンター
ダイレクトイメージング装置の
開発・製造・販売・保守サービス

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

2019年4月期　第2四半期　Topics

■約15億円の期初受注残高でスタート

■上半期受注高　合計約11.6億円
基板AOI、AVIその付帯設備を複数台受注

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

2019年4月期　第2四半期　業績ハイライト（連結）

inspec Inc.

➢ 売上高、利益ともに前期比大幅増

■損益計算書サマリー

単位：百万円

	2019年４月期２Q	2018年４月期２Q	前期比	増減率
売上高	1,397	639	758	+118.6%
営業利益	141	△278	419	–
経常利益	116	△288	404	–
親会社株主に帰属する四半期純利益	101	△262	363	–

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

2019年4月期　第2四半期　業績ハイライト（個別）

inspec Inc.

➢ 売上高、利益ともに前期比大幅増

■損益計算書サマリー

単位：百万円

	2019年４月期２Q	2018年４月期２Q	前期比	増減率
売上高	1,112	368	744	+202.2%
営業利益	142	△127	269	–
経常利益	144	△128	272	–
四半期純利益	125	△139	264	–

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

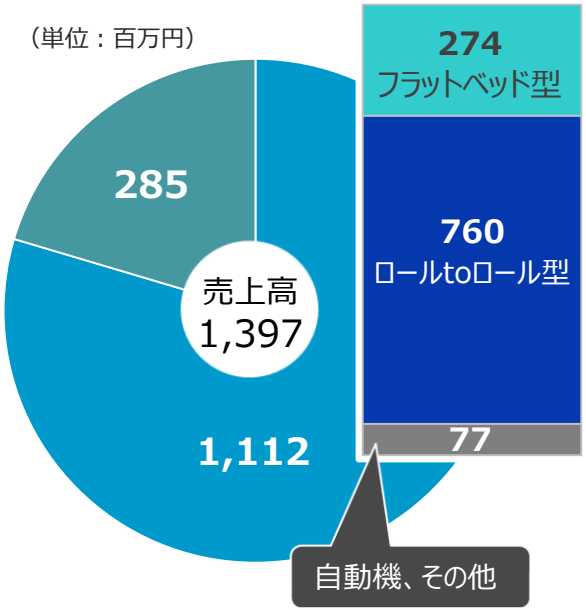
セグメント別売上高

inspec Inc.

	2019年4月期　2Q累計			2018年4月期　2Q累計			前年同期比増減率
	金額（百万円）	構成比（個別）	構成比（連結）	金額（百万円）	構成比（個別）	構成比（連結）	
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	1,112	100.0%	79.6%	368	100.0%	57.6%	202.2%
フラットベッド型検査装置	274	24.6%	19.6%	181	49.4%	28.6%	51.3%
ロールtoロール型検査装置	760	68.5%	54.5%	75	20.4%	11.7%	913.3%
インライン検査装置	0	0.0%	0.0%	50	13.6%	7.8%	–
自動機、その他	77	6.9%	5.5%	61	16.6%	9.5%	26.2%
精密基板製造装置関連事業	285	–	20.4%	259	–	40.5%	10.4%
デジタルパソロジー関連機器事業	–	–	–	12	–	1.9%	–
連結売上高	1,397	–	100.0%	639	–	100.0%	118.6%

（注）デジタルパソロジー関連機器事業は2019年４月期より、連結の範囲から除外したため、売上高には含んでおりません。

（単位：百万円）



【半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連】
2018年４月に受注したFPC用ロールtoロール型検査装置が順次納入されていることなどにより増収。
前年度に引続き、中期成長のための体制を強化することを目的に人員増強等の先行投資を実施。

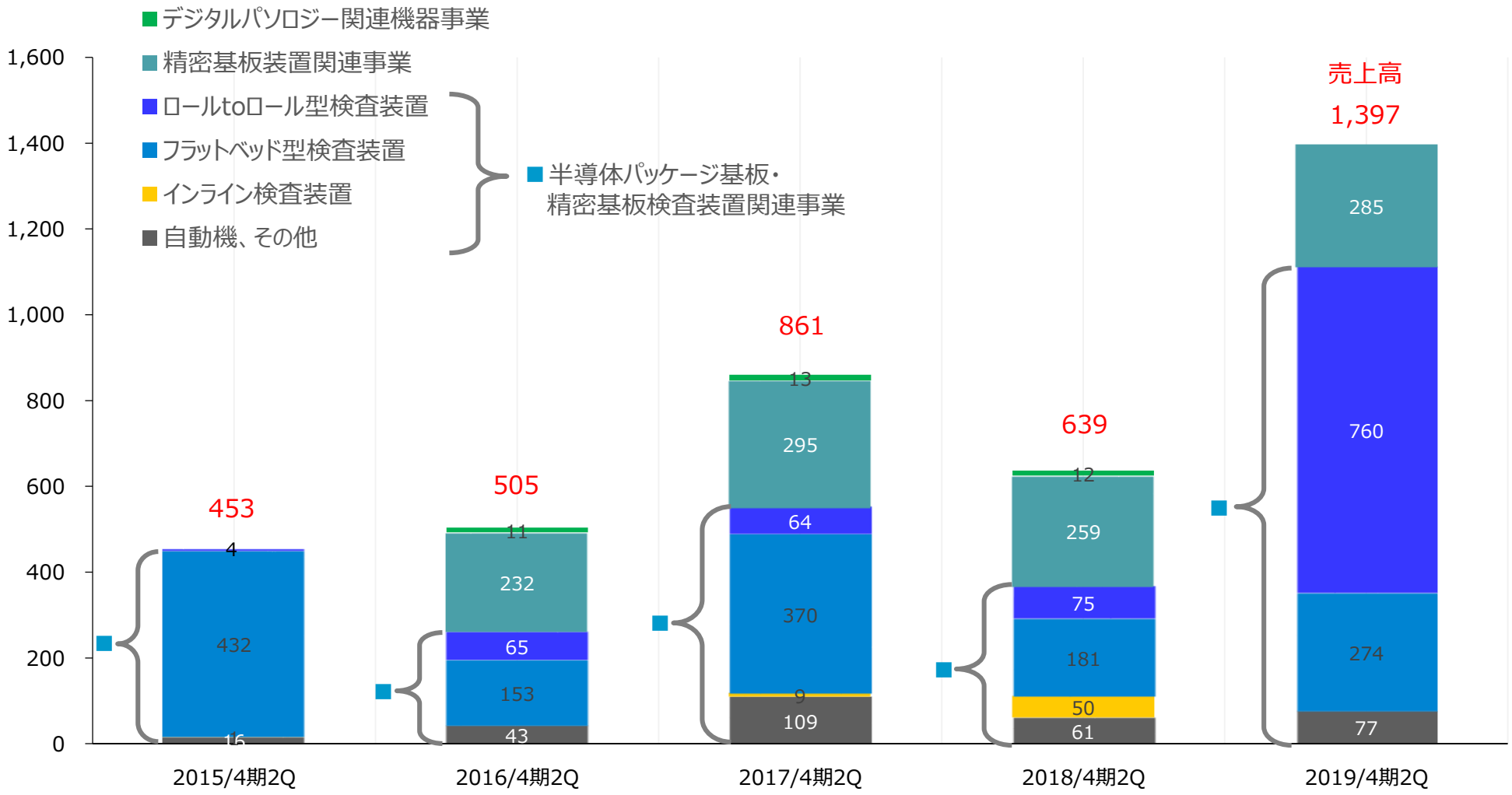
【精密基板製造装置関連機器】
北米に販路を拡大し、引き合いはあるものの納入時期がずれ込む。

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

セグメント別売上高推移

inspec Inc.

（単位：百万円）

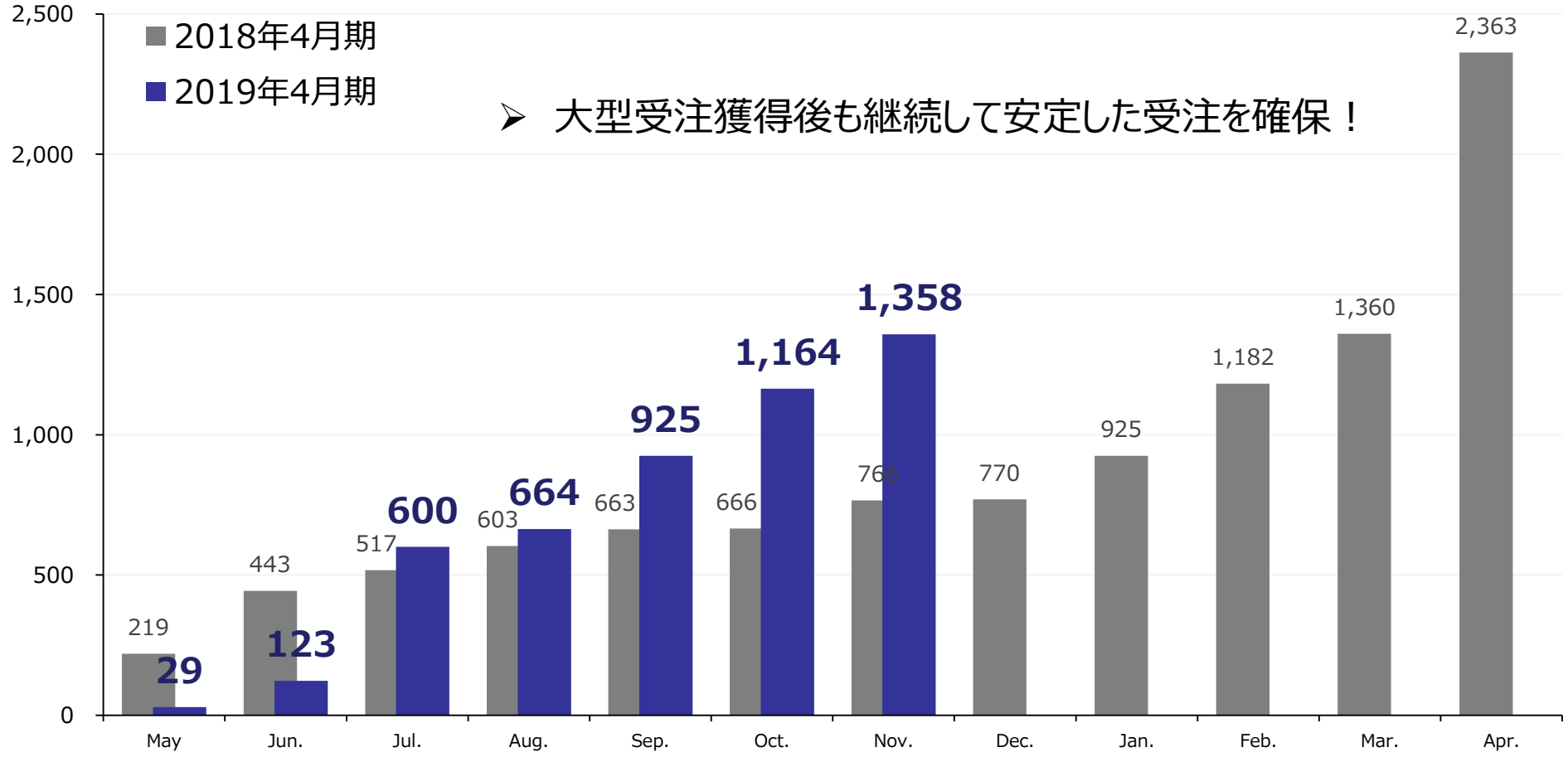


Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

個別月次受注状況の推移（毎月開示）

inspec Inc.

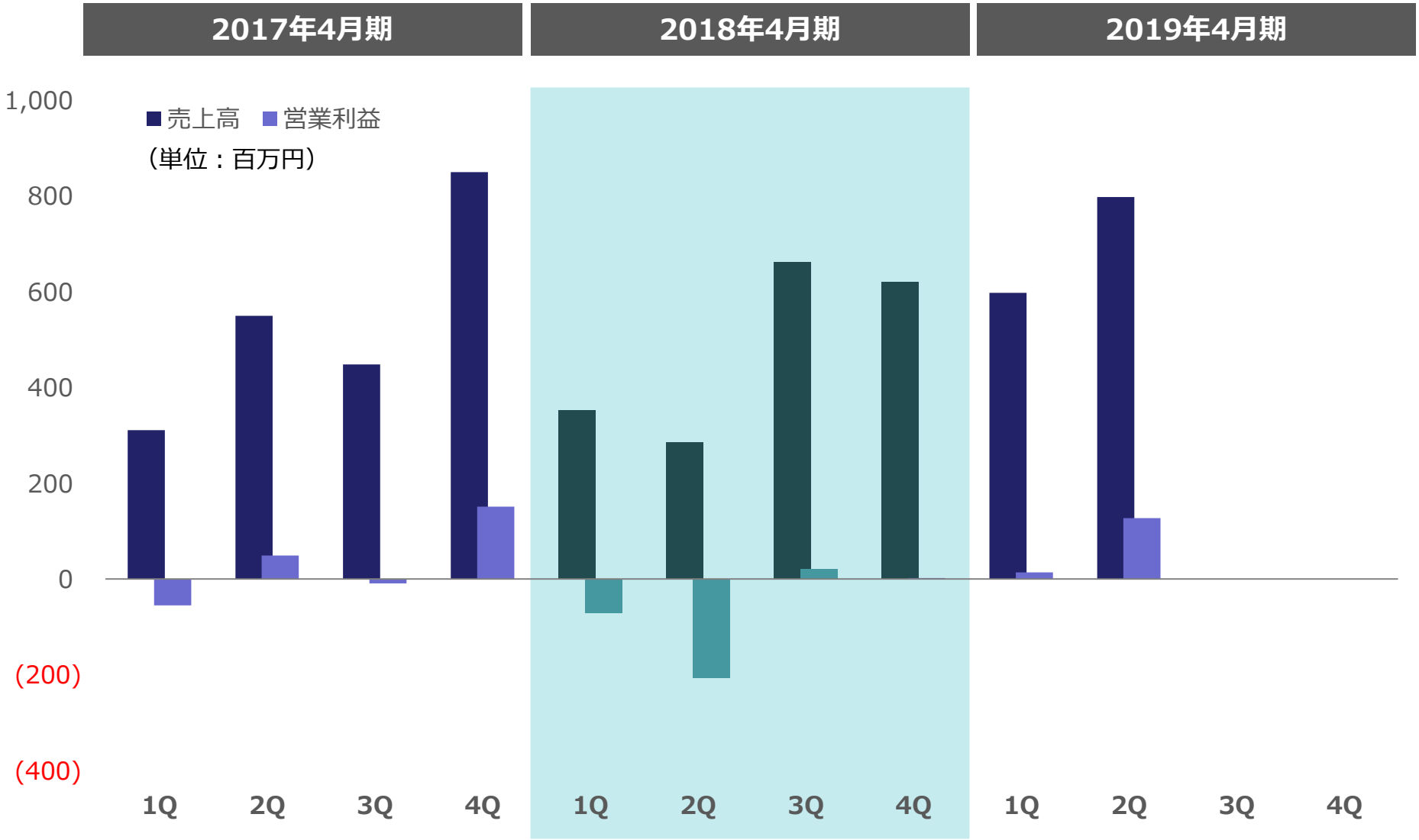
（単位：百万円）



Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

四半期毎売上高営業利益推移

inspec Inc.



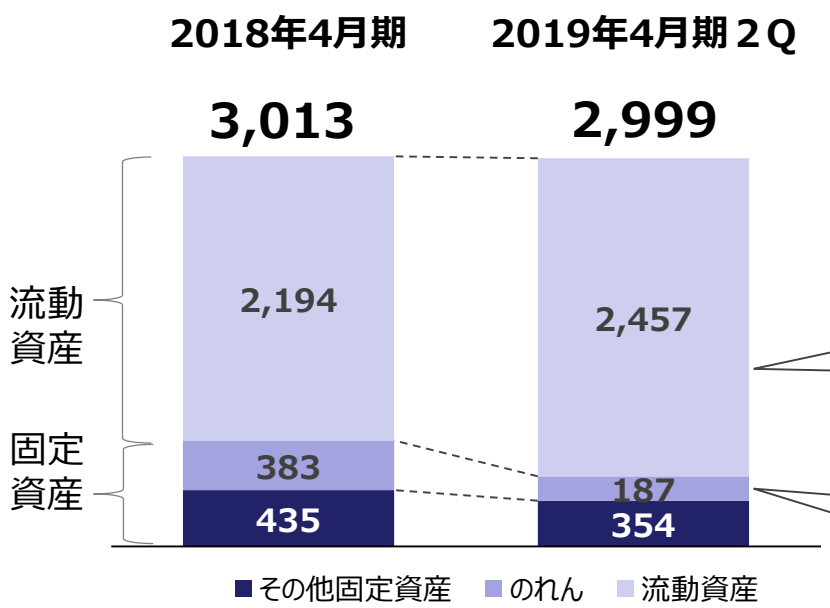
Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

要約連結貸借対照表

inspec Inc.

	2018年4月期	2018年4月期2Q
自己資本	906百万円	**1,034百万円**
自己資本比率	30.1%	**34.5%**

資産の部

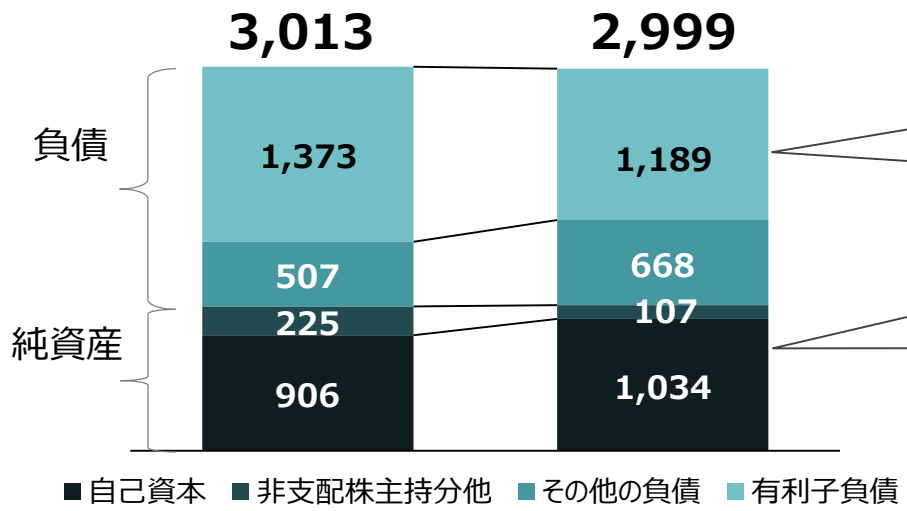


【主な増減要因】

現金及び預金：310百万円増加

のれん（連結除外による）：196百万円減少

負債の部、純資産の部



短期借入金：400百万円増加
転換社債（連結除外による）：500百万円減少

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上
：101百万円増加

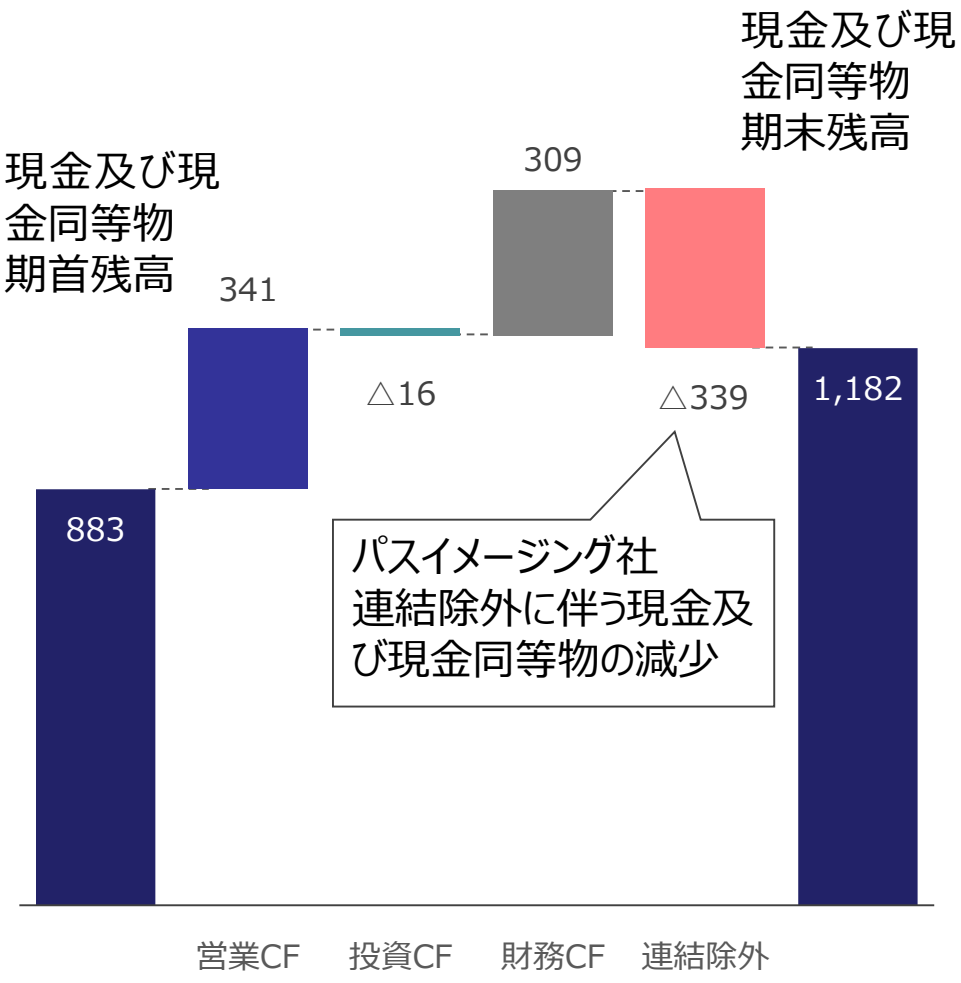
（単位：百万円）

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

要約連結キャッシュ・フロー計算書

inspec Inc.

現金及び現金同等物
299百万円の増加



	2019年4月期2Q	2018年4月期
期首現金及び現金同等物残高	883	340
営業活動によるキャッシュ・フロー	341	346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16	△141
フリーキャッシュ・フロー	324	205
財務活動によるキャッシュ・フロー	309	232
現金及び現金同等に係る換算差額	4	△3
現金及び現金同等物の増減額（減少△）	638	434
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額（減少△）	△339	–
期末現金及び現金同等物残高	1,182	775

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

研究開発費

inspec Inc.

	2019年４月期２Q		2018年４月期２Q		対前年増減率
	金額（百万円）	対売上比	金額（百万円）	対売上比	
研究開発費（連結）	63	4.5%	71	11.1%	△11.2%
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	63	5.6%	57	15.6%	+9.5%
精密基板製造装置関連事業	0	0.0%	2	0.8%	–
デジタルパソロジー関連機器事業	–	–	11	88.8%	–

◆半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業

・ロールtoロール向け画像処理システム、高速インライン検査システム等の開発

・AIを活用した欠陥分類システムの開発

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

2019年4月期　通期連結業績見通し

inspec Inc.

	2019年４月期予想	2018年４月期実績	前期比	増減率
売上高	2,910	1,920	990	+51.6%
営業利益	260	△256	516	–
経常利益	210	△275	485	–
親会社株主に帰属する当期純利益	160	△463	623	–

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

2019年4月期 業績見通し　セグメント別売上高

inspec Inc.

インスペック	：	FPC向けロール to ロールはじめ、ハイエンドパッケージ基板用AOIなども好調。
F-EIE	：	大型露光装置の開発とニーズがマッチング。 既存装置プラスアルファの売上と市場拡大に期待。

	2019年4月期		2018年4月期		対前年増減率
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	
売上高	2,910	100.0%	1,920	100.0%	+51.6%
半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業	2,400	82.5%	1,346	70.1%	+78.3%
精密基板製造装置関連事業	510	17.5%	543	28.3%	△6.1%
デジタルパソロジー関連機器事業	－	－	30	1.6%	－

（注）デジタルパソロジー関連機器事業は2019年４月期より、連結の範囲から除外したため、売上高には含んでおりません。

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

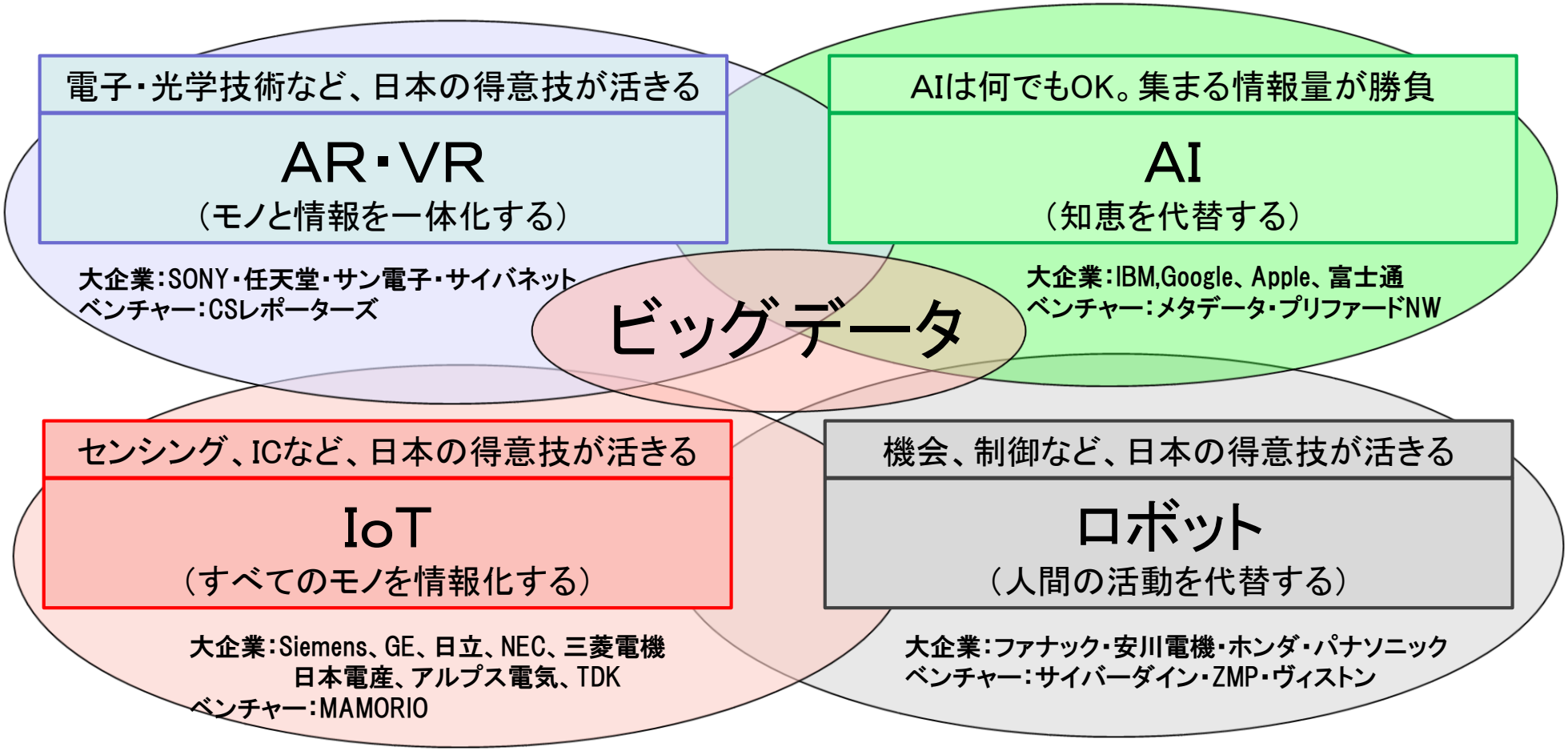
インスペックの成長戦略

中期戦略
- FPC＆COF向けロールtoロール検査装置
- ロールtoロールインライン検査システム
- 精密半導体PKG基板検査システム

中長期戦略
- AIを活用した新たな検査システム
- 輸送機関連分野向け検査システム

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

ー日本の得意技が活きるー



Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

世界は劇的に変化している！

inspec Inc.

機械

電気＆IT

ロボット・AI

開発に使用中のミニスパコン
計算能力 100Tflops※
2004年のスーパーコンピュータ
初代地球シュミレーターの約3倍

ものの概念が変わる＝パラダイム・シフト

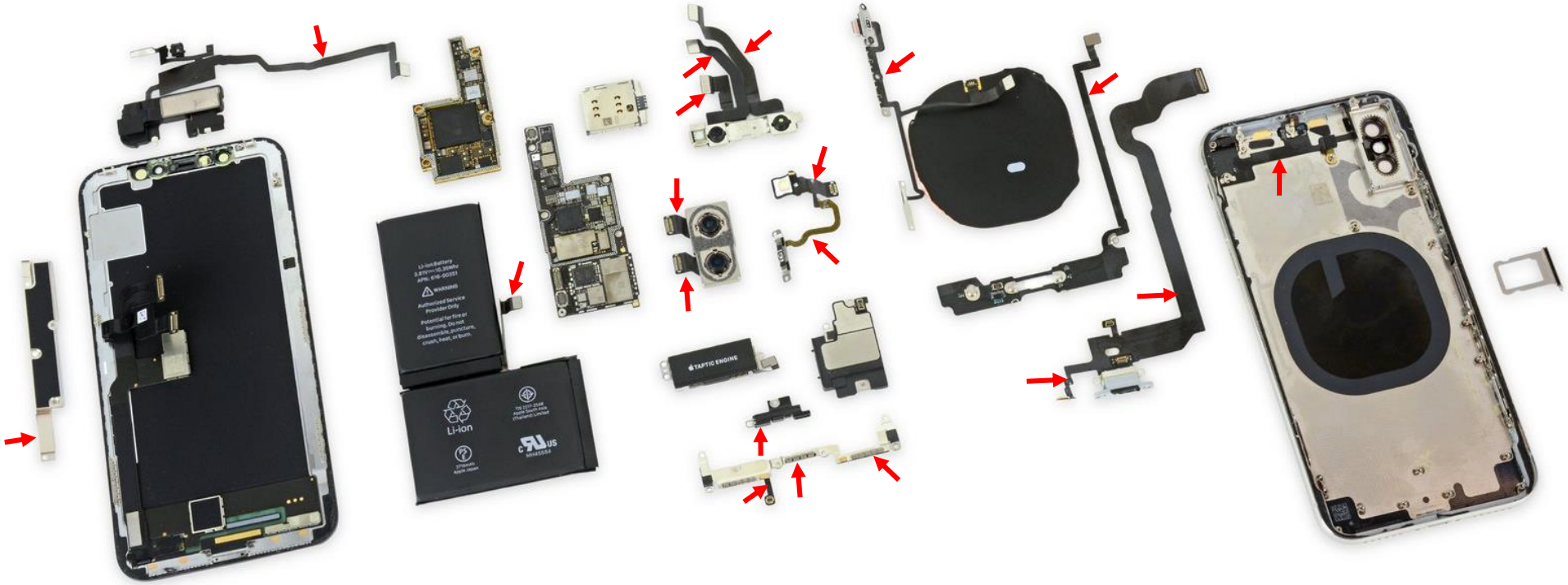
有線通信
ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟPC

スマートフォン

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

多種多様のFPCが使われている

iPhoneXの例

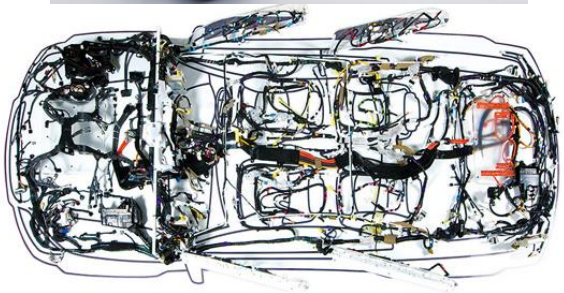


Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

輸送機分野におけるFPC化の必要性

inspec Inc.

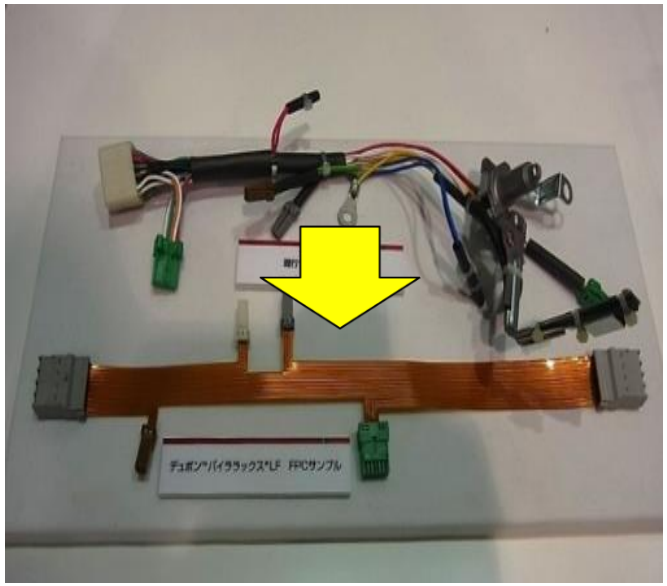
自動車や航空機の配線（ワイヤーハーネス）は電子化の急速な進化に対応するため増加の一途をたどっている。



自動車の配線

航空機内部の配線

FPC化が進む



長尺製品の検査ニーズ：自動車用は長さ6m超 ⇨ RtoRが必須

テスラ社（アメリカのEVメーカー）の検討

ワイヤハーネスの総延長は「モデルS」が3,000m、「モデル3」が1,500mあるが、FPC化することによりその総延長がわずか100mとなり、大幅なコストダウンと品質の向上が見込める、との報告有り。

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

半導体パッケージ基板・精密基板検査装置事業

インスペック株式会社

ロールtoロールAOI RA7100

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

主要3分野の製品戦略

inspec Inc.

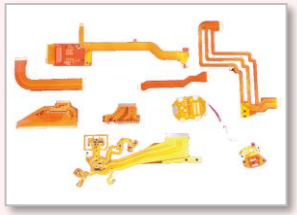
1、ロールtoロール型検査装置(FPC分野、COF分野)

・モバイル機器、ウエアラブル機器など高成長

・ロールtoロール高精度パターン検査で差別化

・TABテープ時代からの圧倒的なノウハウの蓄積

FPC



ロールtoロール型検査装置

2、インライン検査装置

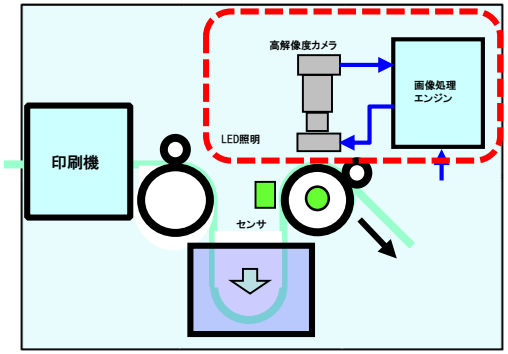
・IoTの拡大でマイクロデバイスが急増

・製品の高度化→インライン検査のニーズが拡大

・ロールtoロールの連続検査技術によりインライン検査が可能

チップ部品

インライン検査装置



3、精密基板検査装置(フラットベッド型)

・クラウドサーバーの拡大で高性能CPUが増加

・AIの進化でディープラーニング用デバイスが急拡大

・最先端のファインパターン検査(AOI)に唯一対応

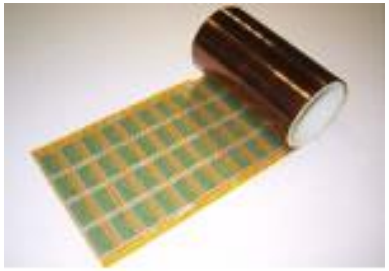
半導体PKG基板

精密基板検査装置

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

ロールtoロールAVI

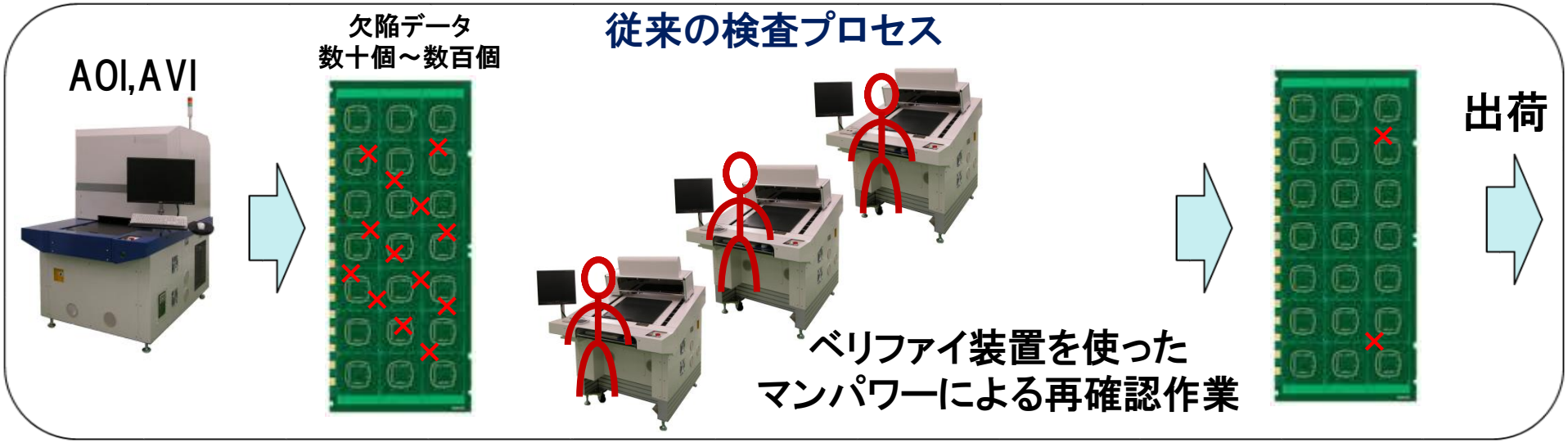
フレキシブル基板・COF・各種センサー

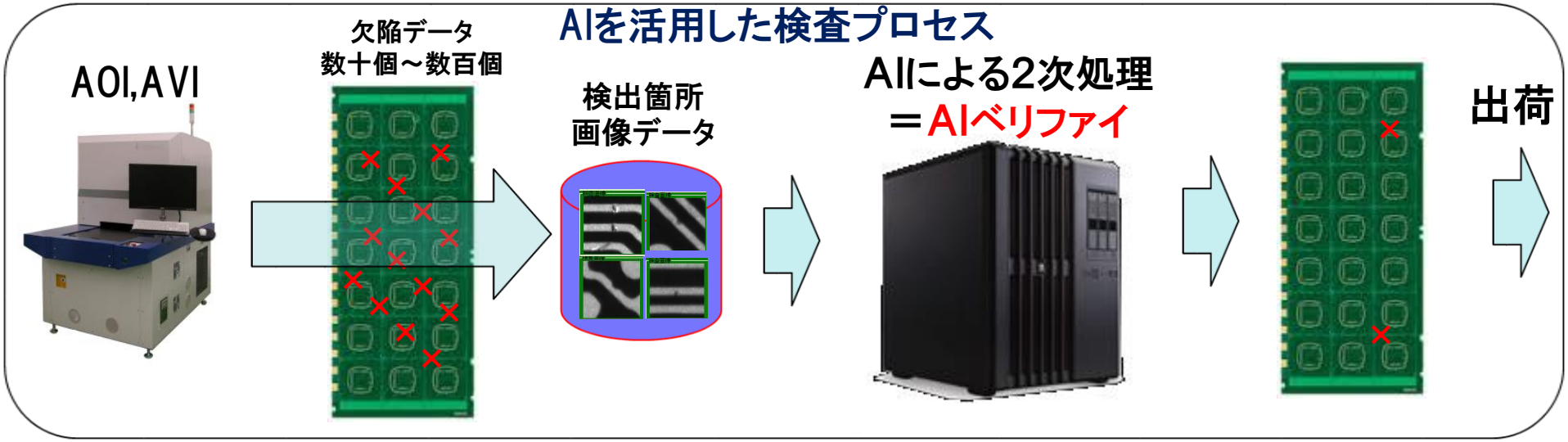


Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

AI取り組み ：AI(人工知能)の活用で出来ること

inspec Inc.





Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

精密基板製造装置関連事業

First EIE SA

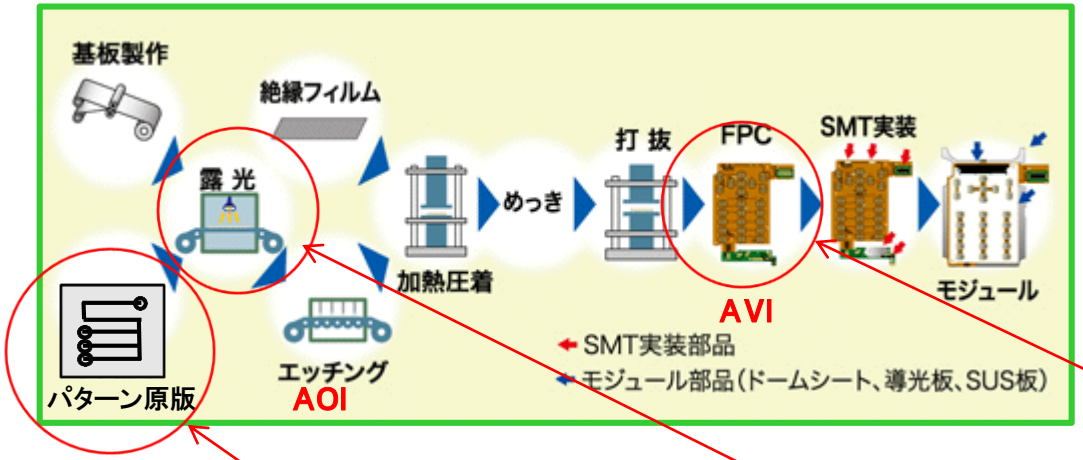
レーザーフォトプロッター RP700

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

First EIE社 製品ラインナップ

inspec Inc.

プリント基板の製造工程



市場規模(世界)

フォトプロッター　：　20億円～40億円
ダイレクトイメージング　:200億円～300億円

フォトプロッター
（基板のフィルム原版を印刷する装置）

ダイレクトイメージング
（基板にパターンを直接描画する装置）

インクジェットプリンター
（基板上に回路記号等を印刷する装置）

RP500

RP750

EDI500

CP562

主力製品：世界市場で750台以上の実績

新製品：目標ニッチトップ

多品種生産対応機

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

First EIE社のグローバル拠点を活用

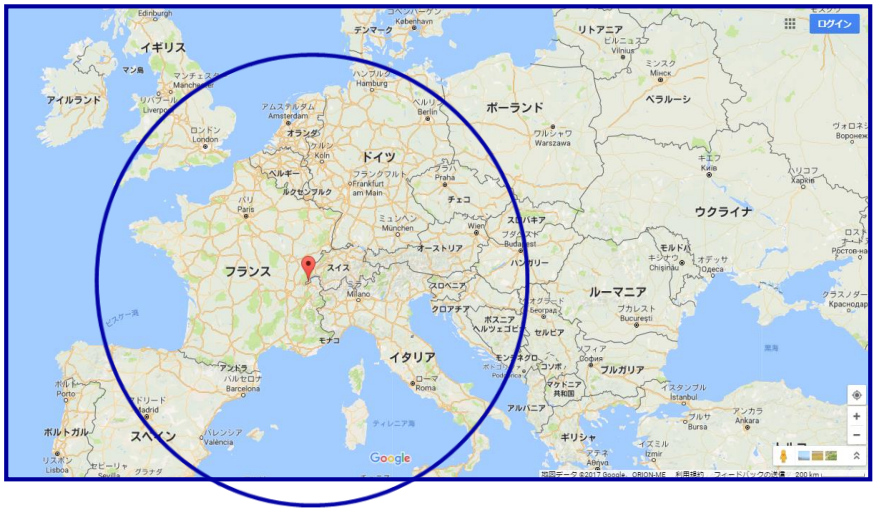
inspec Inc.

First EIE社の本社工場移転→コストダウン＆品質向上＆キャパUP

Nyonの新工場(2017年9月に移転)
ニヨン(Nyon)

インスペックのヨーロッパ市場
に於けるサービス拠点として運用

半径約1,000Km(飛行機で約1．5時間)



Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

ご清聴ありがとうございました。

インスペックグループは、世界におけるオンリーワン企業を目指しチャレンジを続けてまいります。

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved

本資料のお取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

Copyright 2018 inspec All Rights Reserved